

平成 29 年 5 月 24 日

射水市新斎場建設工事  
基本設計業務プロポーザル・火葬炉設備プロポーザル審査講評

射水市新斎場建設基本設計等業務受託者検討委員会  
委員長 森 俊偉

1. 審査経緯と審査結果

平成 29 年 5 月 15 日に射水市役所において、基本設計業務に応募のあった 9 案について第一次審査を行い、第二次審査対象にふさわしい 4 者を選出したほか、火葬炉設備工事に応募のあった 1 案について審査を行いました。火葬炉設備工事については、ヒアリングを実施し、要求水準書に対する適合性や提案者の技術力、経験、創造力等を総合的に審査し、最適候補者を選出しました。

平成 29 年 5 月 24 日に同所において、基本設計業務の 4 者についてヒアリングを実施しました。引き続き第二次審査を行い、各案について一件ずつ取り上げ、案の特徴や問題点等について意見交換し、総合的かつ慎重に審査を行いました。その結果、最適候補者として株式会社三四五建築研究所、次点者として株式会社ピートープを選出しました。

2. 審査講評

(1) 基本設計業務

第一次審査において書類審査を行い、提出された提案書の内容を中心に委員全員による十分な議論と意見交換を行い、ヒアリング対象者を 4 者に絞り込みました。

第二次審査においては、各管理技術者等から技術提案書の内容について詳細説明を受け、質疑応答を行い、引き続き第二次審査対象の 4 案について審査を行いました。

審査は、ヒアリング内容を加味しつつ、各案についてその良い点、欠点について全委員間で再度十分な議論と意見交換を行い、ゆったりとした緑の田園公園と一体化しつつ威圧感なく水平に展開する斎場を意図し、諸点においてバランスが取れかつ可能性に富んだ提案を為した(株)三四五建築研究所を最適候補者として選出しました。

また多岐に渡ってきめ細やかで誠意と熱意のある検討と提案を為していた(株)ピートープを次点者として選出しました。

心性と機能性が同時に求められ、かつ周辺環境への十分な配慮も必要とする難しい施設内容であったにもかかわらず、参加のあったいずれの案も全体から細部に至るまでよく検討と提案がなされたレベルの高いものでした。その熱意に大変感謝しております。

第二次審査対象となった各提案書の評価は次の通りです。

○三四五建築研究所技術提案書……最適候補者

ゆったりとした緑の田園公園と一体化しつつ、威圧感なく水平に展開する斎場を意図した案。火葬告別棟を敷地西側に、その裏手に管理者駐車場を設け、そして、待合棟を東の北側に、会葬者駐車場とメインアプローチ路をランドスケープに溶け込ませつつ東の南側に配置。

適度なゆとりと拡がり感のある配置計画案となっており、近接環境との関係や周辺景観の見せ方等に対しても適応力のある案となっている点。また火葬告別棟への機能的でゆとりのある寄り付き、並びにエントランス部での告別と収骨動線の分離がシンプルかつ効果的に構成されている点。水平線を強調した外観デザインの考え方など。今後の機能面での詳細検討や施設の具体的な雰囲気づくりにも十分な対応力を持った案として評価がありました。

待合室の向き検討、帰路玄関の向き検討、適度な和的趣きを表出する施設デザインのさらなる検討等を要望する意見もありましたが、機能的側面、環境への配慮、配置計画、施設デザインやランドスケープデザイン等、諸点において最もバランスの取れた良作として多くの支持を得て、最適候補者として選出されました。

(注・今後、具体化に向けてさらに適切な調整が図られていく事を期待します。)

○ビートープ技術提案書……次点者

火葬告別棟と管理者駐車場・会葬者駐車場を敷地西側に効果的に集め、庭園風にデザインした敷地東側の中央部に待合棟をゆったりと配置した案。

東側のゆったりとした庭園ゾーンを厳かにアプローチさせる演出。周辺景観の見せ方に工夫を図りつつデザインしたランドスケープ。コンパクトでかつ細部にまで心配りされた火葬告別棟や待合棟への諸提案等、最適候補者に劣らぬ評価がありました。しかし一方で、火葬告別棟の南面するメインエントランスの在り方、北面する陰った大壁の在り方、大きな勾配屋根の良否など疑問視する意見もあり、残念ながら次点者扱いとなりました。

○押田建築設計事務所技術提案書

火葬告別棟と管理者駐車場を西側の設け、東側には火葬告別棟の2ブロック方式を反映したシンメトリーな構成で待合ゾーンとメインアプローチゾーンを配置した特徴的な案。

炉室と機械室を平面配置して建物高さを低く抑え、ランドスケープに同化するような施設デザインする姿勢、やや雑然とした周辺環境の中で屋外空間を囲い込みつつ施設各所の環境を整えようとする手法、並びに切れ味のある外観デザイン等について高い評価がありました。しかし一方で、堅苦しい雰囲気や固定化した使い勝手、及び建築費の増大等を懸念する意見もあり、選外となりました。

#### ○中川建築設計事務所技術提案書

最適候補者案に近似した配置計画が為された案で、最適候補者と同様の相応の評価がありました。また全体にエネルギーの籠った提案となっており、背中合わせに炉を配置する等の積極的な提案や、歴史ホール等の地域特性を取り込もうとする姿勢も関心を引きました。しかし一方で、これらの実質的な有効性や、やや華やかな印象をも与える外観デザインやインテリアの雰囲気等を疑問視する意見もあり、選外となりました。

#### (2) 火葬炉設備工事

審査は、要求水準書に対する宮本工業所の提案に対して、各視点に基づき、ヒアリング内容も加味しつつ、技術評価を行い、十分な実績があり、各要求条件を満たしていると判断して、最適候補者として宮本工業所を選出しました。

技術提案書の評価は次の通りです。

#### ○宮本工業所技術提案書

燃焼計算及びシステムの考え方について、燃焼計算、各設備能力計算の整合性が保たれていたほか、環境保全対策について、提出資料から公害防止対策の考え方は適切であると判断しました。

また、火葬炉設備設置スペースについては、火葬炉設備のコンパクトな配置とし、設備全体の高さを抑える提案がなされ、妥当な配置計画となっており、メンテナンス等においてもサービス・緊急体制が確立されていることから、妥当と判断しました。

このほか、運営に関する提案、アフターサービスの考え方と体制、安全及び緊急停止時の対策等に関して、積極的な提案がなされており、高評価を得ました。

以上の結果、最適候補者として選出しました。